

本時の指導

(1) 題材

視点を变えて書こう ~新たな自分を発見する~

(2) 目標

ものをさまざまな視点から見つめたり、自分なりの視点から紹介することができる。

自分なりの表現をするために、他との交流をもち、自分を広げようとしている。

(3) 指導過程

	学習活動	主な発問()と指示()	指導上の留意点(・)と評価()
導入	<ul style="list-style-type: none"> 漢字10問テストで基礎学力を確認する。 前時に書いた雪についての紹介文を聞く。 	<p>漢字10問テストの準備をしましょう。</p> <p>前回の学習の成果である「雪」についての紹介文をいくつか聞きましょう。</p> <p>どんな視点から「雪」について紹介してありましたか。</p>	<p>家庭学習の取り組みと基礎学力としての漢字を身につけようとしているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じものでも人によって違う視点から文章を書いていることを理解させる。 つぶやきを聞き逃さない。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 連想ゲームを通し、ものの見方や固定観念を知る。 3つのヒントからものを当てるクイズを作り、交流する。 	<p>今から、3つのヒントを言います。このヒントからあるものを当ててください。</p> <p>今のクイズを参考にして、今度はあなたが作ってみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「安い」「早い」「うまい」 牛丼など広く一般に知られている視点をゲームとして紹介する。 他と積極的に交流し、いろんな視点を得ようとしているか。 同じようなものを選んだ生徒を探し、その視点の違いを紹介する。
	<p>課題 あなたの視点を広げる「なりきり作文」を書こう！</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 「なりきり作文」の例を読み、書く題材と視点を探る。 	<p>「なりきり作文」という視点を変えた作文を書くための例を読みます。</p> <p>「なりきり作文」を書く題材と視点を決めていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書にある作品等を読み、題材は特に指定しないことを告げる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「なりきり作文」の題材と視点を確認し、次時の活動を知る。 今日の活動を振り返り、視点についての自己評価をする。 	<p>次回は、「なりきり作文」を下書きする学習活動になります。表現や文体を自分なりに工夫できるようによく練って臨みましょう。</p> <p>今日の学習を振り返り、交流から視点の広がりや深まりがあったか確認しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 題材に迷う生徒に対して、ヒントを与えたり例示をしたりして支援する。 自己評価シートを準備し、学習目標に近づいているかを確認する。

(4) 評価

他との交流場面や発問・指示への反応や観察から、書く活動の関心・意欲・態度を評価する。

ものへの新たなアプローチや視点を変えた表現から書く力を評価する。

学習後、何が変わったのかを自分なりにとらえているかをプリントで評価する。